

親鸞の道 我等は共に親鸞の道を歩まん

1. 教科書『親鸞の道』について調べよう。

日本で唯一のハードカバーの本である。

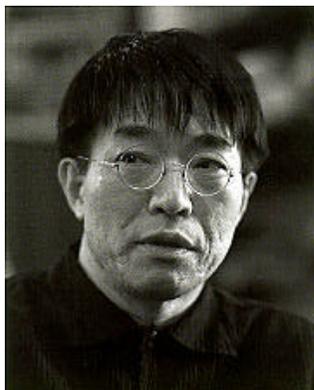
日本で唯一の『和紙による親鸞の板画(木版画)』の挿絵やページがある。

この和紙は、越前で漉かれたものである。

木版画の作者は、『 』である。

木田安彦 (板画の作者)

1944 年生まれ。1970 年京都市立芸術大学美術専攻科デザイン専攻修了。東行、博報堂制作部に勤務。1975 年帰洛、以後版画家として制作に専念。毎日商業デザイン賞、クリオ賞、サロン・ドートンヌ、ル・サロン、サロン・ド・ナショナル・デ・ボザール(パリ)入選。日経広告賞、SDA 優秀賞、全国カレンダー展通商産業大臣賞、NY ADC (New York The Art Directors Club) 賞銀賞ほか受賞。欧州巡回「日本のポスター展」、「現代日本版画展」海外巡回展、「第 1 回テヘラン国際現代絵画展」ほか国内外で個展。大英博物館に木版画 16 点収蔵。作品集『木田安彦の世界』『ちょっと昔の京都』『世界の市』『舞妓』『諸国名所』ほか。NY ADC 国際会員。カネボウの入浴剤「旅の宿」のパッケージに採用され馴染みがお有りだと思います。



(作者と他の作品)

2004 年 NHK 大河ドラマ「新撰組」のタイトル版画

この教科書『親鸞の道』は、「真宗大谷派学校連合会」の発行である。

大谷中学・高校も「真宗大谷派学校連合会」に属しており、全国 19 の学校で仲間がこの教科書を使って、学んでいる。

2. 教科書の表題「親鸞の道 我等は共に親鸞の道を歩まん」について

「仏教」(明治までは、仏道・仏法が使われていた)という言葉には、

「仏(真実)の教え」= 仏教学、宗教学

「仏(釈尊)によって説かれた教え」= 歴史学

「仏(Buddha)になる教え」= 宗教(自分の生き方)の教え

の三つの意味がある。

これと同様、「親鸞」を学ぶ視点も三つある。ただ、副題が示すように、「共に親鸞がめざした道」を歩むことが中心になる。